



「豊かな心でたくましく 自分の人生を切り拓く生徒」

学校評価アンケートまとめ

畑中 学校評価だより

令和6年9月19日
佐渡市立畑野中学校

<http://hatano-js.sado.ed.jp/>
E-mail hatano-js@sado.ed.jp

令和6年度の前期の畑野中学校の学校評価の結果をお知らせします。グランドデザインの数値目標（成果）に基づき評価を考察しました。また、生徒・保護者の全アンケート集計結果については最後に掲載しておきます。ご確認ください。

1 学習意欲の向上と基礎基本の定着 **知**

目標① 「授業で学んだことがどのように役立つかを考えるようになった」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 60%以上 【C】 Bに至らない

【評価B】 肯定的評価 75.6%

昨年度の後期と比較するとやや下がっている（R5 後期 81.3）が、昨年度の同時期と比較するとほぼ同程度である（R5 前期 76.4）。保護者評価は、R5 と比較して上がっている（R5 68.6→R6 73.4）。このことから、前期は平年と同等のスタートであったと概ね評価できる。

後期は課題解決型職場体験や新たにアントレプレナーシップ教育が始まる。これらキャリア教育をとおして、生徒が学習について意味を実感し、学習への必要性を高め、この評価の上昇と結びつけていきたい。また、引き続き、授業等において効果的で意味のある学習課題の設定や、学習後の振り返りを日常生活と関連付けするなど、授業における取組を丁寧に行っていく。

目標② 「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組むことができた」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 60%以上 【C】 Bに至らない

【評価B】 肯定的評価 68.3%

R5 年度までは「自学への取り組み」のみを評価したが、本年度から「家庭学習全体」へと評価目標を広げた。そのためか R5 の後期よりやや低い値（R5 後期 72.5）ではあるが、保護者の評価は上がっている（R5 61.6→R6 70.3）。

家庭学習への主体的な取り組みは本校の課題でもあり同時に、佐渡市の課題でもある。引き続き、主体的な家庭学習への取組を推進し、後期にはA評価を目指したい。

手立て

二つの目標とも、A評価を目指して取組を継続していく。

目標①では、本年度からアントレプレナーシップ教育を導入する。これらキャリア教育をとおして、学習と自分の生き方をつなげ、学習する意味を実感させることで、生徒の学習への意欲を高めていきたい。そしてそれを目標②の主体的な家庭学習への取組にもつなげていく。

目標②では、タブレットを使ったAIドリルの活用や学習計画を終学活で立てる等、生徒一人一人がより主体的に家庭学習に取り組めるような工夫を行っていく。

2 いじめ・不登校を生まない学校づくり

徳

目標① 「安心して、自信をもって、自由に発言できると感じている。」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 70%以上 【C】 Bに至らない

【評価A】 肯定的評価 82.9%

本年度より新たに設定した項目である。A評価であることから、後期も前期と同様に取組を継続していく。また、A評価ではあるが、否定的な評価をしている生徒もいるということのを重く受けとめ、100%を目指し努力を継続する。

目標② 「誰とでも協力して、様々な活動に取り組むことができた。」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 70%以上 【C】 Bに至らない

【評価A】 肯定的評価 90.2%

昨年度に引き続きA評価である（昨年度 90.1%）。保護者の評価も増加している（R5 80.2→R6 92.2）この目標②は畑野中の生徒の良さであり強みである。この良さや強みを活かし、さらに伸ばして100%となるよう、支援や指導を継続していきたい。

目標③ 「自分が活躍できる場があった」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 60%以上 【C】 Bに至らない

【評価B】 肯定的評価 78.0%

昨年度の後期と比較するとやや下がっている（R5 後期 84.6）が、昨年度の同時期と比較するとほぼ同程度である（R5 前期 74.2）。保護者評価は、R5と比較して上がっている（R5 72.1→R6 82.8）。2学期は学校行事、生徒会行事等が多くある。これらの活動において生徒が活躍する場面を多く設定し、その活躍をお互い認め合うことで、生徒の自己有効感や自己肯定感を高めていきたい。

手立て

引き続き、全ての目標で100%を目指し取組を継続していく。

目標①②③共に、生徒の頑張りが、生徒同士や職員から伝わり、共有できるような機会や場を設定する。例えば、体育祭や学習発表会などの行事において、学級での取組の様子や振り返りを学級掲示し、可視化する。さらにそれを、学年を超えて相互共有することにより、全校でそうした生徒の頑張りを認め合い、盛り上げていくような雰囲気をつくっていく。お互いがお互いを認め合うような支持的風土を醸成し、目標①の「安心して、自信をもって自由に発言できる」と感じる生徒や、目標③の「自分が活躍できる場があった」と答える生徒を増やしたい。

また、目標②の畑野中の生徒の良さを活かしながら、困っている生徒の状況把握と情報収集、相談活動をできるだけ早く行い、全職員が共通で理解をして、即時対応を目指す等、いじめ・不登校を生まない学校づくりに引き続き努める。

3 健康・体力の増進



目標① 「自分が決めた目標メディア時間を守って生活している。」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 60%以上 【C】 Bに至らない

【評価B】 肯定的評価 64.6%

生徒の主体的な取り組みを引き出すため、目標を「メディア2時間以内」から「自分が決めた目標メディア時間」に変更した。その影響もあってのことだと思うが、肯定的評価が前年度の54.9%から64.6%に上がっている。特に3年生で肯定的評価が増えた。引き続き取組を継続し、これをきっかけに徐々に高い目標に持っていけるよう、メディアへの意識を高めていきたい。

目標② 「早寝・早起きを心がけ、健康的な生活を送るように心がけた。」と答える生徒を80%以上にする。

評価基準 【A】 80%以上 【B】 60%以上 【C】 Bに至らない

【評価B】 肯定的評価 75.6%

B評価であるが、昨年度に比較して上がっている（R5後期72.5）。また、保護者評価がR5と比較して20ポイント以上急激に上がっている（R5 45.3→R6 65.6）。今年度に入り保護者の意識が高まっているのではないかと推測できる。後期も継続し、保護者に働きかけるなどの取り組みをとおして、更に評価を向上させたい。

手立て

目標①では、メディアコントロール週間を定期的実施する。その際に親子で目標時間を共有するよう声掛けをする。また、学校保健委員会でメディア講演会を実施し、青少協と協力し、保護者にも啓発する。

目標②では、23時までに寝る準備（ベッド、布団に入る）はできたか等のチェックを、メディアコントロール週間と合わせて行う。

4 生徒・保護者アンケート集計結果

項目	5ポイント以上の増減は↑で示す。10ポイント以上の増減は↑↑で示す。											増減		
	生徒					増減	保護者							
	A	B	C	D	肯定		A	B	C	D	肯定			
目標をもって学習や活動 をすることができた	R6前	37.8	42.7	14.6	4.9	80.5		R6前	31.3	50.0	17.2	1.6	81.3	↑↑
	R5後	26.4	54.9	16.5	2.2	81.3		R5後	17.4	53.5	19.8	9.3	70.9	
課題に対して粘り強く取り 組むことができた。	R6前	40.2	36.6	20.7	2.4	76.8		R6前	26.6	45.3	25.0	3.1	71.9	↓
	R5後	36.3	48.4	12.1	3.3	84.6	↓	R5後	17.4	61.6	14.0	7.0	79.1	
1年生70分、2年生80 分、3年生90分の家庭 学習ができた。	R6前	14.6	36.6	36.6	12.2	51.2		R6前	12.5	40.6	29.7	17.2	53.1	↑
	R5後	19.8	40.7	31.9	7.7	60.4	↓	R5後	9.3	38.4	33.7	18.6	47.7	

自分で計画を立てて、家庭学習に取り組むことができました。	R6前	24.4	43.9	24.4	7.3	68.3	↓	R6前	34.4	35.9	20.3	9.4	70.3	↑
	R5後	28.6	44.0	23.1	4.4	72.5		R5後	23.3	38.4	29.1	9.3	61.6	
学校が楽しい、充実していると感じている。	R6前	47.6	41.5	3.7	7.3	89.0		R6前	39.1	43.8	14.1	3.1	82.8	↑
	R5後	47.3	41.8	9.9	1.1	89.0		R5後	34.9	40.7	19.8	4.7	75.6	
日頃から「いじめは絶対に許さない」という気持ちで過ごした。 (前年度保護者：「いじめ」や「いじめ防止」について家庭で話し合いの場を設けた。)	R6前	52.4	42.7	2.4	2.4	95.1		R6前	50.0	43.8	4.7	1.6	93.8	/
	R5後	62.6	33.0	3.3	1.1	95.6		R5後	16.3	39.5	31.4	12.8	55.8	
誰とでも協力して、様々な活動に取り組むことができました。	R6前	48.8	41.5	7.3	2.4	90.2		R6前	42.2	50.0	7.8	0.0	92.2	↑↑
	R5後	49.5	40.7	7.7	2.2	90.1		R5後	32.6	47.7	17.4	2.3	80.2	
「挨拶」「感謝」「謝罪」「礼儀」「思いやり」「励まし」など、状況に応じて適切な言葉がけをした。	R6前	57.3	37.8	2.4	2.4	95.1		R6前	37.5	43.8	18.8	0.0	81.3	/
	R5後	52.7	39.6	6.6	1.1	92.3		R5後	24.4	52.3	19.8	3.5	76.7	
自分は時と場に合わせた言葉づかいや服装に心がけた。	R6前	40.2	45.1	8.5	6.1	85.4		R6前	34.4	53.1	10.9	1.6	87.5	↑
	R5後	39.6	50.5	8.8	1.1	90.1		R5後	31.4	50.0	16.3	2.3	81.4	
安心して、自信をもって、自由に発言できると感じている。(前年保護者：家庭内で…)	R6前	35.4	47.6	14.6	2.4	82.9		R6前	21.9	54.7	23.4	0.0	76.6	/
	R5後	33.0	47.3	13.2	6.6	80.2		R5後	57.0	33.7	7.0	2.3	90.7	
毎日朝食を食べている。	R6前	73.2	13.4	3.7	9.8	86.6		R6前	75.0	18.8	1.6	4.7	93.8	↑
	R5後	69.2	18.7	7.7	4.4	87.9		R5後	76.7	11.6	8.1	3.5	88.4	
早寝・早起きを心がけ、健康的な生活を送るように心がけた。	R6前	42.7	32.9	14.6	9.8	75.6		R6前	25.0	40.6	25.0	9.4	65.6	↑↑
	R5後	36.3	36.3	22.0	5.5	72.5		R5後	18.6	26.7	37.2	17.4	45.3	
積極的に体を動かし、体力づくりに取り組んでいる。	R6前	53.7	28.0	7.3	11.0	81.7		R6前	39.1	35.9	10.9	14.1	75.0	↑
	R5後	49.5	33.0	7.7	9.9	82.4		R5後	38.4	27.9	23.3	10.5	66.3	
自分が決めた目標メディア時間を守って生活している。(前年：メディア2時間を守って生活している)	R6前	24.4	40.2	19.5	15.9	64.6	↑	R6前	9.4	18.8	51.6	20.3	28.1	↓
	R5後	20.9	34.1	25.3	19.8	54.9		R5後	9.3	24.4	33.7	32.6	33.7	
家庭での時間の使い方を工夫して生活することができた。(保護者新規)	R6前	34.1	40.2	20.7	4.9	74.4		R6前	9.4	43.8	43.8	3.1	53.1	/
	R5後	30.8	46.2	16.5	6.6	76.9		R5後						
より良い行動ができるように考えて生活した。	R6前	46.3	35.4	14.6	3.7	81.7		R6前	28.1	51.6	18.8	1.6	79.7	/
	R5後	41.8	47.3	8.8	2.2	89.0		R5後	19.8	59.3	19.8	1.2	79.1	
学校生活には自分が活躍できる場があった。	R6前	40.2	37.8	14.6	7.3	78.0		R6前	39.1	43.8	15.6	1.6	82.8	↑↑
	R5後	40.7	44.0	14.3	1.1	84.6		R5後	17.4	54.7	24.4	3.5	72.1	
将来の生き方について考えることができるようになった。	R6前	35.4	39.0	15.9	9.8	74.4	↓↓	R6前	25.0	39.1	29.7	6.3	64.1	↓
	R5後	36.3	48.4	14.3	1.1	84.6		R5後	26.7	50.0	17.4	5.8	76.7	
授業で学んだことがどのように役立つかを考えるようになった。	R6前	36.6	39.0	14.6	9.8	75.6	↓	R6前	10.9	62.5	23.4	3.1	73.4	↑
	R5後	41.8	39.6	17.6	1.1	81.3		R5後	17.4	51.2	26.7	4.7	68.6	
ふるさと佐渡(畑野)を誇りに思う。	R6前	42.7	40.2	14.6	2.4	82.9	↓	R6前	21.9	51.6	23.4	3.1	73.4	↑
	R5後	54.9	41.8	3.3	0.0	96.7		R5後	18.6	50.0	25.6	5.8	68.6	
タブレット端末を効果的に活用した。(前年度集計なし)	R6前	44.4	44.4	4.9	6.2	88.9	/	R6前	10.9	56.3	29.7	3.1	67.2	/
	R5後							R5後						